

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。
ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2010 徹底解説 ネットワークスペシャリスト 本試験問題（第1版 第1, 2刷）

No	訂正箇所	正
1	H20 秋-116 午後Ⅱ 問1 解説 [設問3] (3) 4行目～16行目を 右のように訂正	<p>しかし、L3SWは、仮想NICが切り替わったかどうかを知る手段がないので、仮想PC-B1に切り替わった場合、仮想PC-B1は、直ちに仮想L2SWとL3SWの接続ポートを切り替えるように、L3SWに通知する必要がある。VMware (Virtual Machine Ware ; WindowsやLinux系OS上で、x86互換機を仮想的に作り出すソフトウェアのこと) では、切り替わった仮想PCは、L3SWのMACアドレステーブルを書き換える目的で、RARP (Reverse ARP) パケットを送信するように規定している。したがって、解答としては「仮想PC-B1からRARPパケットを送信する」旨を答えるとよい。</p> <p>なお、この問題では、仮想PC-B1のMACアドレスをL3SWに通知し、L3SWが保持しているARPキャッシュ (ARPテーブル) の内容を、仮想PC-A1のMACアドレスから仮想PC-B1のMACアドレスに変更する必要があるとも解釈できる。そこで、仮想PC-B1が、自分のIPアドレスに対するARPパケットを送信し、L3SWに対し、ARPキャッシュを更新するという方法も考えられる。したがって、「仮想PC-B1から自分のIPアドレスに対するARPパケットを送信する」旨を解答してもよい。このようなARPは、Gratuitous ARPと呼ばれている。</p>